

目指すまちの姿の関係概念図



4本の枝は「目指すまちの姿」1～4を表し、1本の同じ幹から伸びているものです。木の幹は「市民の暮らし」や「市民の力・地域の力」、「活力ある都市」を表しています。その幹は「目指すまちの姿」5（主に都市基盤）という土壌に根をはり、全体を「目指すまちの姿」6の環境が包み込んでいます。

まちづくりの担い手となるものとして市民、団体、NPO、大学、事業者そして行政が支えています。

これら全体が多摩市を表し、その外側には市を取り巻く広域的なものとして他の市町村や都、国がありさらには諸外国など世界規模のものと全てを取り巻く地球があります。これらは、文化や環境などの取り組みを多摩市内外へ発信していくという広がりを持った意味が込められています。

また、図の中心には基本構想の実現を表す将来都市像が果実として実を結んでいくことを表しました。